

平成二十九年八月十一日(祝) 午後五時半開演

△能▽

母今村哲朗  
團三郎 上野雄介  
鬼主 山本麗晃  
曾我五郎 大西礼久  
曾我十郎 山本章弘

### 小袖曾我

間 春日局 善竹隆平

大鼓 森山泰幸  
小鼓 清水皓祐  
笛 齊藤 敦

△狂言▽

### 土筆

遊山人 善竹忠一郎 遊山人 上西良介  
後見 松下孝輔

挨拶 大阪市長 吉村洋文

火入れ式 大槻文藏

△能▽

### 羽衣

天人 山中雅志

漁夫 中村宜成 大鼓 守家由訓 太鼓 中田一葉  
鳥 廣谷和夫 小鼓 荒木賀光 笛 貞光義明  
漁夫 喜多雅人

後見 長山耕三 上野朝彦 井戸良祐  
塩谷 恵 地謡 永田克王 井戸和男  
林本 大生一知哉  
佐野和之 寺澤幸祐

△仕舞▽

芭蕉 大西智久 山田 薫  
地謡 勝部延和 松浦信二郎  
鶉之段 大槻文藏 大西礼久

△能▽

### 天鼓

(觀世流) 天鼓 梅若基徳

勅使 福王知登 大鼓 山本哲也 太鼓 中田弘美  
小鼓 成田達志 笛 野口 亮

間 從者 善竹隆司

後見 立花香寿子 山本麗晃 井戸良祐  
梅若堯之 地謡 上野雄介 井戸和男  
永田克王 梅若猶義  
今村哲朗 池内光之助

附祝言

終了予定 午後八時四十五分頃

平成二十九年八月十二日(土) 午後五時半開演

△能▽

牛若丸 水田兼暉  
從者 齊藤信輔  
弁慶 水田雄晤

### 橋弁慶

間 洛中ノ者 善竹隆平  
洛中ノ者 上吉川徹

大鼓 辻 雅之  
小鼓 上田敦史  
笛 森田啓子

△狂言▽

### 文山立

(大藏流) 山立 善竹隆司 山立 善竹徳一郎  
後見 道下正裕

挨拶 薪能委員長 松田雅好

火入れ式 辻 雅之

△能▽

### 杜若

(觀世流) 杜若ノ精 前田和子

旅僧 森本幸治 大鼓 辻 芳昭 太鼓 上田 悟  
小鼓 久田陽春子 笛 赤井啓三

後見 山下麻乃 山本麗晃 武富康之  
山本博通 地謡 山田 薫 小西弘通  
上野雄介 波多野晋  
齊藤信輔 生一知哉

△仕舞▽

班女 山下麻乃 小川晴子  
赤井きよ子  
地謡 立花香寿子  
前田飛南子  
綿田富美枝

△能▽

### 紅葉狩

(金剛流) 侍女 竹市幸司  
侍女 大菅義信  
侍女 中嶋謙昌  
鬼神女 谷口雅彦

從者 広谷和夫 大鼓 上野義雄 太鼓 上田慎也  
平維茂 喜多雅人 小鼓 荒木建作 笛 赤井要佑  
勢子 中村宜成

間 供女 上吉川徹  
末社ノ神 善竹忠一郎

後見 豊嶋三千春 岩切直次 都丸 勇  
植田恭三 地謡 藤田章三 山口尚志  
北川米喜 田中敏文  
吉村輝一 上村雅義

附祝言

終了予定 午後八時四十分頃

文化力

大阪市助成公演

能楽が世界の宝に  
ユネスコ第一回世界無形遺産宣言

第61回 おおさかたきぎのう

# 大阪新能

平成29年8月11日(祝)・12日(土)

午後5時半開演 午後4時半開場

生國魂神社境内

電話〇六一六七七一〇〇〇二

地下鉄谷町線「谷町九丁目」③出口谷町筋南へ200m右入ル

雨天の場合の予備日は十三日のみです。詳しくは入場券の裏面をご覧ください。

ヤングNOH能  
キッズ&学生  
真夏の大会コンクール  
平成29年8月11日  
午前10時～12時  
優待券は2日前開演前に発売

ハマッテみよう  
謡の世界  
午後3時より  
入場無料・ご来賓歓迎  
雨天の場合は  
大阪新能に準じて順延

提供 ウシマド写真工房

入場料

当日券 四、〇〇〇円 (各一日有効)  
前売券 三、五〇〇円 (各一日有効)  
学生券 二、〇〇〇円 (当日のみ)

入場券  
販売所

- ◆チケットぴあ (Pコード 786-698)
- ◆阪神ブレイガイド ◆大丸心斎橋店
- ◆近畿日本ツーリスト (難波・上本町)
- ◆生國魂神社 ◆各出演者 ◆各能楽堂

第一日

小袖曾我 (こそでそが)

曾我十郎・五郎兄弟はひそかに父の敵討ちをするべく、富士の狩場に出かける途中、勘当の身の五郎の許しを乞うため母を訪ねるが中々許されません。しかし遂に勘当を許された兄弟は二人揃って舞を舞い、狩場へと勇み出かけてます。

上筆 (つくづくし)

春のうららの退屈しのぎに、二人連れ添って野遊山に出かけます。興が乗ってきて口ずさむ和歌について口論となり、とうとう取っ組み合いの相撲に…。

羽衣 (はごろも)

三保の松原ののどかな朝。漁師の白龍が天女の羽衣を拾い持ち帰ろうとしますが、天女がこれを呼び止め、羽衣がなくては天井に帰れないと悲しむので返します。天女は羽衣を着て天上の舞を見せて天に帰ります。

天鼓 (てんこ) 弄鼓之舞

天より降り下った妙音を奏でる鼓を帝に差し出すことを拒んだ少年天鼓は呂水に沈められる。その後鳴らなくなった鼓を天鼓の父・王伯に打たせると見事な音を発したので、帝は哀れに思い、管弦講を催し申っていると天鼓の霊が現れ、鼓に戯れ舞い遊ぶのでした。

第二日

橋介慶 (はしべんけい)

牛若丸は源氏再興の為に、腕の立つ者を家来にしようと辻斬りに扮して五条の橋に立っていました。弁慶はその辻斬りを退治しようとやって来ます。ここに牛若丸と弁慶は運命の出会いをします。童話等で知られる話とは二人の立場が逆になっています。

文山立 (ふみやまだち)

二人の山賊が追剥ぎをくわだてますが失敗。互いに相手が悪いと口論から遂に果たし合いに。もともと臆病な二人で、死んだ時の為に一人が書置きを残すことを提案。さて結末は…。

杜若 (かきつばた)

都に住む僧が三河の八つ橋に来て杜若の美しさに眺め入っていますと、杜若の精が現れ、優なる舞を舞い、夜の明けるとともに、御法を得たと言って夢と消え失せました。

紅葉狩 (もみじがり)

信州戸隠山で酒宴をする美女の群に呼び止められた平維持は、すすめられる酒に酔い臥します。夢の告げで美女は鬼であると知らされて目を覚ました維持は、神の加護に鬼神を退治します。



都合により能の一部を短縮することもありますのでご了承下さい。  
当公演は、指定写真班を設けております。事前に許可のない方の  
録音及び写真・ビデオ撮影は堅くお断り申し上げます。

入場料(各日) 前売券 3,500円 当日券 4,000円 学生券 2,000円 (当日のみ)

チケットぴあ Pコード 786-698 <http://pia.jp/>

主催：(公社)能楽協会 大阪支部・大阪新能委員会 後援：大阪市・生國魂神社  
助成・補助：(公財)東教育財団・(一財)大阪労働者福祉財団